

平成 28 年 5 月 31 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 28 年 5 月 31 日 (火曜日)

午後 1 時 15 分から午後 2 時 13 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲 委 員 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	若月 和浩	子ども未来部長	波多 文子
教育部次長	金澤 俊道	教育総務課長	武樋 正隆
教育施設課長	中村 仁	学務課長	茂田井裕子
学校教育課長	竹内 正浩	子ども家庭課長	大矢 芳彦
保育課長	大野 宏	中央公民館長	水島 幸枝
中央図書館長	金垣 孝二	科学博物館長	小熊 博史
学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之	学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久
学校教育課主幹兼管理指導主事	柳沢 学	学校教育課指導主事	古川 真哉

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	星野 麻美	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
教育総務課庶務係	金子あゆみ		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 30 号	条例改正の申出について（長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正）
3	第 31 号	条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正）
4	第 32 号	補正予算の要求について

7 会議の経過

（高橋教育長） これより教育委員会 5 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

（高橋教育長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 19 条第 2 項の規定により、大橋委員及び青柳委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 30 号 条例改正について

（高橋教育長） 日程第 2 議案第 30 号 条例改正の申出について。長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の申出を議題とする。事務局の説明を求める。

（大矢子ども家庭課長） 長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する議案である。4 月 1 日に学校教育法等の一部を改正する法律の施行により、小中一貫教育を行う新たな学校として「義務教育学校」が制度化された。その改正に伴い、本条例の第 9 条第 3 項第 4 号中「中学校」の次に『、義務教育学校』を加えるものである。

（高橋教育長） 質疑、意見はあるか。

(大橋委員長) 「義務教育学校」とは何か。

(高橋教育長) 「義務教育学校」について説明を求める。

(学校教育課長) 小学校と中学校を合わせた小中一貫9か年の学校である。

(若月教育部長) 他にも「小中一貫校」や「小中一体校」もあるが、「義務教育学校」とは校長が1人である。

(高橋教育長) 例として3年+4年+2年で全体として9年という場合もある。

中1ギャップ解消のため文科省が広めたい制度であり、全国的にはまだ少ないが、これから広まっていくであろう。実態をみながら、長岡市でもどうしていくのか、研究テーマのひとつでもある。

(高橋教育長) 他に質疑、意見はないか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第3 議案第31号 条例改正の申出について

(高橋教育長) 日程第3 議案第31号 条例改正の申出について。内容は、長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正を議題とする。事務局の説明を求める。

(大野保育課長) 長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、厚生労働省令の改正等を受け、所要の改正を行うものである。該当施設は小規模A型(7施設)と保育所型事業所内保育所(3施設)である。改正内容の1つ目は、施設基準に係る改正である。建築基準法の改正により、4階以上に保育施設を設置する場合、避難用の屋内階段の構造について変更するもの。2つ目は、職員配置に係る改正である。全国的に待機児童を解消し、受け皿拡大が一段落するまでの間の特例措置である。具体的には、〈ア〉朝夕等の児童が少数となる時間帯における保育士配置に係る特例、〈イ〉幼稚園教諭及び小学校教諭

並びに養護教諭の活用に係る特例、〈ウ〉保育所における保育の実施に当たり必要となる保育士配置に係る特例、の3つである。〈ア〉に関しては、児童の人数に応じて必要となる保育士の数が1名となる朝・夕等の時間帯について、保育士2名の配置が必要なところ、うち1名を無資格者に代えることができる。〈イ〉に関しては、幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭を保育士として算定することができる。〈ウ〉に関しては、保育士1人当たり最長8時間勤務としていることを鑑み、8時間以上開園している保育施設において、認可の際に必要な保育士に追加して雇用が必要となる保育士について、無資格者に代えることができる。ただし、配置基準上、各時間帯に必要な保育士数の3分の2以上は保育士の配置が必要となる。3つ目は、長岡市暴力団排除条例の趣旨に照らし暴力団排除条項を加えるもの、である。施行期日は6月市議会議決後の公布の日である。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 待機児童をなくすまでの時限的取組だと思うが、具体的にはいつまでなのか。

(大野保育課長) 国の奨励でも目安は示されていない。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(高橋教育長) 次に、日程第4、議案第32号 補正予算の要求についてを議題とする。事務局の説明を求める。

(武樋教育総務課長) 平成28年6月補正予算要求について、6月14日から開催される6月定例市議会へ提案するものである。

(大矢子ども家庭課課長) 歳出の「若者発」子育て応援事業費については、ながおか若者会議の子育てチームからの提案である。ながおか若者しごと機構と連携し、子育て世代のための交流イベント開催や、子育て支援の情報発信を行う。補正額は、

イベントの会場費、運営費として 380 万、情報コンテンツのための執筆謝礼、情報冊子印刷製本費等として 90 万円、計 470 万円。次に、予防接種事業において、本年 10 月から B 型肝炎ワクチンの定期予防接種が開始となる。これに伴う関係経費の補正である。B 型肝炎ワクチンは満 1 歳までに 3 回接種する。長岡市年間出生数約 2 千人であり、長岡市年間出生数を基に積算すると接種費用及び予診表の印刷費などの事務費として 2,231 万 7 千円の補正額を要求したい。歳入については、一般財団法人自治総合センターから交付されるコミュニティ事業助成金であり、全額を子育て応援事業費の財源に充てる。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 子育て事業のイベントはどのような内容で考えているのか。

(大矢子ども家庭課長) 長岡に住んで間もない子育て世帯や、これから長岡で子育てを検討している世帯に向けて、長岡に住んでよかったと感じるものや、子育ての不安を解消するための仕組みを構築できるよう考えている。イベント内容は、現在検討中であるが、イベント会場で長岡の遊び場、アレルギー、医療、食材を発信していきたい。また、来場者向けにアンケートを実施し、結果も情報発信するよう検討している。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はないか。

(羽賀委員) この事業は、保護者からの情報が縦割りで取得しづらいとの意見が基になっている。子育てナビと協力して情報発信してもらいたい。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はないか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

(高橋教育長) 続いて、協議報告事項に移る。最初に平成 28 年度全国学力・学習状況調査問題、長岡市教育委員会分析概要について、事務局の説明を求める。

(竹内学校教育課課長) 昨年の全国学力・学習状況調査結果については、小学校は全国平均並み、中学校においては全国平均以上であった。今年の調査について分析結果を報告する。

(古川学校教育課指導主事) 分析の概要を説明する。4月19日に市内全小中学校が参加し、「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題による調査が行われた。問題数は昨年並みであったが、小学校においては国語Aでローマ字が、国語Bで「話すこと聞くこと」が新たに出題された。A問題は、小学校、中学校ともに基本的な学習内容の定着をみる問題であった。ただ、中学校数学においては、数式や図形に関する意味が理解されているかをみる出題もあり、基礎的な計算技能と合わせて意味理解を深める授業も大切になる。小学校B問題において、国語では文章だけでなく、複数の表やグラフから必要な情報を読み取り、説明する力が求められている。授業では、多様な文種や資料に読み慣れることが大切であり、日頃から文字数と条件の2つの制限を満たすような論述について指導する必要がある。算数は日常の場面から多くの問題が設定されている。条件変更や発展場面で考察させる出題もあり、活用する力や発展的に考える力が求められるため、授業では誤答例を適切に用いることが必要であり、情報を正しく読み取り、誤りの原因を見つけ、正しく説明し直す活動を組織するなどの指導が必要である。中学校B問題において、国語は文種の異なる文章を盛り込んだ出題があり、条件付きの記述式で回答する表現力が求められている。説明文から疑問を明確にし、自ら課題を設定し、既習経験を生かして解決の見通しを持たせるなどの一連の学習活動が必要である。数学は日常的な会話や事柄を数学的に解釈したり説明したりする力が求められる問題があり、特徴的な問題としてコンピュータを使い、平行四辺形の性質を用いる証明問題が出題された。授業において、コンピュータを活用し、もとの図形を変形してもいつでも成り立ちそのような事柄を見出し、予想し、実際に証明する一連の学習活動が必要である。今上げたいいくつかの特徴的な問題においては、やや難易度が高いため正答率は全国的に低いと思われるが、長岡の子どもたちの学習課題とも一致し、説明する力や書く力がよく育まれているかどうかを見るのに注目した問題である。今後の結果分析においてもこの点に注目していき、各学校の要請訪問や教育センターの研修講座の際の指導項目のひとつとして考えていきたい。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか

(大橋委員) 学校や教職員に対して分析結果をどのように指導するかが大切である。教育センターと分析結果を共有し、具体的な指導を講座や学校訪問において是非実施してもらいたい。また、教育委員会として学校にどのように指導するのか具体的に示すべきである。

(竹内学校教育課長) 昨年度より管理職を集めて分析結果の説明会を行っている。今回の意見を踏まえ、研修の内容を考えていく。

(高橋教育長) 次に平成 28 年度長岡市成人式についての報告に移る。事務局からの説明を求める。

(大矢子ども家庭課長) 5月3日に長岡を含めた5地域で成人式を開催した。忙しい中ご出席いただいた教育委員の皆様には感謝する。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 質疑、意見なしと認める。

(高橋教育長) 次に、長岡市保育体制強化事業費補助金交付要綱の制定について、事務局の説明を求める。

(大野保育課長) 本要綱は、市長の補助執行として行い、長岡市として公表するため報告事項とするものである。配慮を要する児童の保育をおこなうために保育補助職員を配置し、保育体制の強化を図ることに対して市が行う補助金交付について要綱を制定するものである。内容は補助対象者、対象事業、補助金の額等や交付申請に係る事務手続きを示すものである。対象施設は、私立認可保育園、幼保連携型認定こども園、私立幼稚園となる。対象児童は、3歳以上児で発達特性により、クラス担任以外の保育補助職員の見守りを必要とする児童である。補助内容は、補助職員人件費の2分の1を補助するもの。補助対象経費の上限を1人当たり9万円、1施設当たり2人までとし、上限を18万円と定めており、平成28年4月1日から適用する。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(大橋委員) 対象児童の人数の見込みはどのくらいか。

(大野保育課長) 今の傾向として、どこの保育園にも配慮を要する子は何人かいる。その子に対して補助するのではなく、クラス運営を円滑にするための人件費に対す

る補助である。

(高橋教育長) 見守りや配慮が必要な児童の判断基準はどのようなものか。

(大野保育課長) 施設や園が判断し、申請を行う。申請を受け、子ども家庭センターすこやか応援係が状況を確認し、補助決定を行う。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 質疑・意見なしと認める。

(高橋教育長) 最後に、催し案内について、補足説明のあるものは挙手願う。

(大矢子ども家庭課) 6月12日に第47回子どもフェスティバルを開催する。ポイントラリーなどの内容を予定しており、昨年は500人弱の参加があった。今年はそれ以上の参加を期待したい。

(高橋教育長) 他に催し案内はあるか。

(竹内学校教育課長) 6月14日に東京フィル夢づくり楽器ワークショップを開催する。中学生の吹奏楽部員を対象とし、東京フィルが指導する。リリックホールのスタジオを使用し、360名程の生徒が指導を受ける予定である。翌日は、中学生の夢づくりコンサートで、吹奏楽部の中学2年生がステージ上で演奏するので、是非ご覧いただきたい。

(高橋教育長) 360人の生徒はどのように指導を受けるのか。

(竹内学校教育課長) リリックホールのスタジオを借りて、パートに分かれて指導を受ける。

(高橋教育長) 他校の同じ楽器を演奏する生徒と交流が生まれ、良い試みである。

(若月教育部長) 翌日15日にコンサート鑑賞がある。これまでは学校単位で、ブロック分けされた座席であった。しかし、今年はチケットを配布し、隣の席に他校の生徒が座る可能性がある、より本物に近い体験ができるようになった。

(高橋教育長) 他に報告事項はないか。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員